

大 樹

学校だより NO.11 令和8年1月7日

【学校教育目標】

心身ともに健康で、自ら学び、高め合い、
自立する陵北っ子の育成
～ 一人一人を輝かせる教育の実践 ～

新年あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、皆様におかれましては、清々しい気持ちで新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年12月19日(金)、学校支援ボランティアの皆様が中心となり、正面玄関前に立派な門松を飾っていただきました。材料の準備から制作、設置まで、すべて手作りによるもので、学校に新年を迎えるにふさわしい明るい雰囲気增添了。門松は、一年の幸福をもたらす年神様をお迎えするための目印とされる、日本の伝統的な正月飾りです。



昔は、自分たちで松を用意し、心を込めて門松を作り、新しい年を迎えていたそうです。そこには、家族や地域の幸せを願う人々の思いが込められていました。今回飾っていただいた門松も、陵北小学校に多くの幸せを運んでくれることでしょう。また、子ども達にとっても、日本の伝統文化に触れる貴重な機会となりました。



冬休みもがんばる金管バンド ~音を合わせ、心を合わせて~

冬休み中、金管バンドのメンバー(4年生から6年生の約40名)が、3日間の練習に取り組みました。

打楽器は正確なリズムを刻めるように、金管楽器はよりよい音色を響かせられるようにと、基礎から一つ一つ丁寧に練習を重ねていました。

また、互いの音をよく聴き合い、全体で音を合わせることを意識しながら、子ども達は楽しそうに、そして真剣に楽器と向き合っていました。子ども達の真剣な表情を見ていると、「もっと上手になりたい」「よい演奏をしたい」という一人一人の強い思いが、ひしひしと伝わってきました。音をそろえようと互いに耳を澄まし、うまくいかない場面でもあきらめずに繰り返し挑戦する姿には、心を打たれるものがありました。目標に向かって前向きに努力を重ねる子ども達。その姿からは、技術の向上だけでなく、粘り強さや仲間を思いやる気持ちなど、目には見えにくい大きな成長が感じられ、たいへん頼もしく思いました。日々の積み重ねが、確かな自信となって子ども達の心に育っていることを実感しています。これからも、練習を通して多くのことを学び、さらに大きく成長してくれることでしょう。今後の一人一人の活躍、そして仲間とともに奏でる音色が、どのように深まっていくのか、とても楽しみにしています。

